

所沢米軍基地は、市をあげての返還運動で7割弱が返還されていますが、まだ98ヘクタールが基地として使われています。



◆塩川鉄也プロフィール
東京都立大学人文学部卒業、埼玉県日高市役所勤務、2000年衆議院議員当選（連続3期）、日本共産党中央委員 下富在住。



◆柳下礼子プロフィール
東北福祉大学社会福祉学部卒業、所沢診療所に医療ソーシャルワーカーとして勤務、1983年所沢市議に初当選（連続2期）1991年埼玉県議当選（連続3期）、2007年埼玉県議に再選、日本共産党埼玉県委員 同所沢市委員長 小手指元町在住。

塩川鉄也 衆議院議員 vs 柳下礼子対談

米軍所沢通信基地水光熱費

— 私たちの税金が3億5千万円も!?

東西連絡道移設費用は、国負担が当然

柳下 基地は、市民にとって、危険であると同時に、都市計画も、交通上も本当にじゃまですよね。

塩川 ええ、だからこそ、当面東西連絡道は早急に実現すべきですが、国は道路建設に伴う、通信施設の移転費用を市に負担させようとしています。私は、06年3月衆議院予算委員会分科会で「本来これは日本政府が費用負担すべきだ」と質問し、当時の防衛施設庁長官は「これまでそのような（市が負担するような）例はない」と答弁しました。当麻市長にこのことをお伝えしたら、ぜひ「ご協力を」と要請いただきました。市負担はさせないという点で全力を挙げます。

基地の水光熱費は、日本人の税金

塩川 それでなくとも、所沢基地の水光熱費は、日本の思いやり予算で支払われているんです。昨年度約2300万円、過去15年間で3億5千万円の税金があつた基地に投入されています。

柳下 灯油も値上がりでみんな生活が大変なのに、米軍は水光熱費タダですか?! 一刻も早い基地撤去のため、今年も力を合わせてがんばりましょう。

柳下 こんにちは、塩川さん、今年も所沢のためにおおいに働いてくださいね。

塩川 そうですね、特に米軍所沢通信基地問題ががんばりたいですね。

核攻撃の指令機能をもつ所沢基地返還こそ

柳下 平和委員会の平山武久氏が、米軍の短波通信の近代化を図る計画に、所沢基地が組み込まれていることを明らかにしましたね。

塩川 「スコープコマンド計画」といいますが、核攻撃部隊への指揮・コントロールも任務に含まれています。こんな危険な基地は早く撤去して、全面返還をすべきです。

ご意見・生活相談 お気軽に

連絡先 柳下礼子事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂 4-3-12
アトラスカーポ浦和高砂 301号室
TEL048 (866) 9559 FAX048 (866) 9569
jcp-sai@apricot.ocn.ne.jp

しんぶん赤旗をご購読ください

今年もがんばります



所沢市中新井にて

「医療難民、介護難民は生じさせない」 知事答弁

— 柳下県議、本会議一般質問で

国は病院在院日数を減らし、増え続ける医療費を削減するため、在宅で看護できない高齢者を受け入れてきた療養病床〔介護型〕を廃止し、療養病床〔医療型〕は削減すると決定しています。これに基づいて県が策定中の「第1期医療費適正化計画案」では、06年10月現在3515床ある療養病床〔介護型〕を廃止し介護施設にすべて移行する、また療養病床〔医療型〕9110床は7100床～9800床の範囲で実状を勘案して決定するとしています。

柳下県議は、一般質問で「私が先日訪問した所沢の病院は、120床ある療養病床〔介護型〕を60床にし、これはぎりぎりまで維持したいと話している。廃止した60床は療養病床〔医療型〕に転換し、介護型を出ざるをえなくなった患者を受け入れています。病院の方は、介護型の6から7割は75歳以上の方で自宅に戻れるのはほんのわずか。とのこと」と、現場の思いをかたり、「療養病床〔介護型〕を廃止すれば、行き場のない患者が療養病床〔医療型〕に流れ込む。療養病床〔医療型〕は実態に即した目標を設定すべ

きでは」と追及しました。
これに対して、上田清司知事は、「期限ぎりぎりまで、介護型を維持したいという医療機関の決意は重く受け止めなければならない」「いわゆる医療難民・介護難民を生じさせないことを第1に対応したい」「県民に安心していただける療養病床〔医療型〕数を確保していきたい」と答弁しました。



12月10日埼玉県議会12月定例会一般質問をする柳下礼子県議

日本共産党埼玉県議会議員
やぎした礼子の県政だより
県議会 12月定例会特集
発行 2008年1月5日

全国平均と比較



こんなに
医師不足の
埼玉県

「産科医・小児科医の確保対策は喫緊の課題」上田知事

「医師確保は高校生からですよ」

一神谷医師



柳下県議は、11月12日川口市木曾呂にある医療生協さいたま本部で、産科医の神谷稔医師と「医師不足・医師確保」問題で懇談しました。(写真)

神谷先生は、知事の「埼玉の医師は人口あたりでは最下位だが、面積あたりにすればそうでもない」と、医師不足を認めながらも批判。産科医の場合は分娩数に対して医師がどのくらいいるかが大切だと語りました。

また、医師確保対策は、高校教育がカギだと強調されました。埼玉の医療のおかれた状況を知り、医療従事者になりたいという思いを育てていくことが大切で、奨学金もお金を出すだけでなく、埼玉への愛着や埼玉の病院への親しみを醸成する手段として支給すべきだと語りました。



柳下県議の一般質問に答える

県議会で医師確保対策を提案

—奨学金と女性医師の支援を—

一般質問で、柳下県議は医師確保対策として、後期臨床研修医の給与と乗せ制度拡充や、前期臨床研修医や医学生への奨学制度を提案しました。保健医療部長は後期研修医制度の対象科目や受け入れ態勢について工夫していくと答弁。前期研修医や医学生への奨学金は、研修病院の受け入れ環境整備など誘導策を図っていくと答弁しました。また柳下県議は、女性医師を積極的に支援するよう、努力している医療機関の紹介や院内保育・病児保育の充実を提案しました。

所沢地区の拠点病院整備

—実務者レベル会議で話し合っていく—

夜間休日の小児2次(入院などを要する)救急の当番病院が、所沢地区では週3日しか決まっています。柳下県議は、県に対して、「1次から2次救急まで担う連携強化病院整備のため県が早急に音頭をとってほしい」と求めました。これに対して保健医療部長は「所沢保健所では、現在実務者レベルで初期救急のすべての曜日における実施に向けて検討を行っております。これらの結果を踏まえ、拠点病院について話し合っていきます」と答弁しました。

所沢養護学校、教室不足早期解決の見通し

「所沢養護、和光南養護など県南西部の教室不足解消のために、廃止となったのちの所沢東高校を利用してほしい」という柳下礼子県議の質問に答えて、島村和男教育長が「県の南西部地域においても、県有施設の有効活用も含め、早期に教室不足が解消できるよう検討しているところです」と、答弁しました。



質問に先立って、11月29日中富南の所沢養護学校を訪れました。教室不足は深刻で、ほとんどの教室を2クラス共有で使い、荷物は廊下に置いてありました。狭い校庭では、大きな高校生と小さな小学生が遊んでいました

許せん!! 75歳以上から保険料を無理矢理取り立てる 後期高齢者医療制度

来年4月から実施される後期高齢者(75歳以上)医療制度は75歳以上の人をほかの世代から切り離し、際限ない負担増に追い込むとともに、受けられる医療も制限するという内容です。柳下県議は、一般質問で知事に対して、「4月実施を中止するよう国に働きかけるべき」だと、要求しました。

これに対して、知事は「高齢者を支える若い方々の人口は減少していくため、国民皆保険制度の存続が危うくなっています」と、実施はやむを得ないという立場の答弁でした。



所沢市議団のみなさんと、後期高齢者医療制度実施を中止する署名活動を行っています。みなさんご協力ください。(所沢駅前にて。左から城下師子所沢市議、柳下県議、荒川広市議、菅原恵子市議、平井明美市議)



11月13日群馬県の吾妻渓谷のハッ場ダム予定地視察



大和根町で13haの麦を生産している農家を訪ね、麦の品目横断的経営安定対策についてお話をうかがいました。昨年に比べ減収の上、横断対策によって麦の代金支払いが遅くなり、資金繰りに苦労しているとのこと。



矢作いづみ所沢市議の相談により、県青少年課に要請したところ中富の成人図書販売機が撤去になりました。

11月29日所沢市内の学童保育を小林澄子所沢市議と訪ねました。久しぶりのけん玉をやってみました。

